

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会 だより11号



撮影日 令和5年 11月17日
撮影者 KDDIスマートドローン株式会社

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会 発行

● ウンランの花見会

2023 年 9 月 9 日

30 人の参加がありました。まず、高島会長の挨拶、高橋さん、小西さん。
高橋さんは本日のスケジュールをお知らせします。小西さんは安眠枕の作り方を説明します。



高島会長



高橋さん



小西さん

残念ながらウンランの開花はまだでした。夏場の異常高温が影響したのでしょうか。この写真は 2022 年、高橋さんが撮影したものです。



配布したウンランのパンフレットです。

ウンランの花見会 2023年9月9日(土)

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会

【ウンラン】香川県、愛媛県、富山県、北海道などに生える海浜植物。

【花期】8月下旬から10月上旬

【香川県絶滅危惧Ⅰ類】

【オオバコ科】旧分類はゴマノハグサ科

【花・葉・茎の特徴】

茎の先に数個の黄白色の花。白っぽい緑色で葉はやや厚く、茎は斜めに立つ。

【和名】海蘭

和名の由来は海辺に咲く花が「ラン」に似ているため、海辺の蘭から転じたと言われている。

【氷見市との交流】

1997年に有明浜の海浜植物を観察する会が、氷見市海浜植物園を訪れた際、松田江浜に群生するウンランと有明浜のハマナデシコの種子交換の話がまとまった。その年の11月に数千粒の種子が届き、気候や環境の違い、何よりも初めての試みのため発芽させることができなかった。1998年7月にはウンランの苗が100株ほど贈られ、今度は移植のノウハウも丁寧に教えていただき、10ヶ所に分けて植えた、11月には瀬戸内海をバックに見事に花を咲かせてくれその後、定住を確認した。

安眠枕に使うハマゴウの実を有明浜で採取します。



続いて、ナミキソウの生育場所を見学します。ここにハマゴウが伸びてきていました。有明浜でハマサジを見つけました。この場所にしか生育していない植物で、香川県準絶滅危惧に指定されています。

●有明浜の清掃

2023 年 10 月 28 日

西風の強い中、19 名の参加で新しく入会された方も来てくれました。5 番ゲート付近で砂浜には枯れ枝・流木が多く打ち上げられ、その中からプラスチックごみを回収します。



2023 年 11 月 11 日

参加人数 19 名、発泡スチロールなどとプラスチックごみを回収しました。10 番ゲート付近です。



2023 年 12 月 9 日

参加人数 19 名、ゴミ袋が 12 袋と多くのプラスチックごみが回収できました。4 番ゲート付近です。



●香理研の開催

2023年11月25日（土）に有明浜休憩場及び有明浜周辺で行いました。

香理研とは香川県小学校理科教育研究会の略です。主催が香理研、主管が三豊観音寺地区小学校理科教育研究会となります。参加者は総勢27名でした。

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会の太田さんは「アサギマダラの生態について」、小西さんは「ハマゴウの実を使った枕づくり」を説明しました。そして、有明浜に出かけ高橋さんにより海浜植物を見て回りました。

◆スケジュール◆

開会行事 9時

体験活動 9時10分

アサギマダラの生態について

ハマゴウの実を使った枕作り

Google レンズを使ったフィールドビンゴ

有明浜の海浜植物の観察・採集

閉会行事 11時50分

終了 12時



太田さん



小西さん



参加された先生方

参加された先生方の感想をホームページに掲載しています、ぜひご覧ください。

●寄稿

上井 嘉さん

「アサギマダラ飛翔会の活動に参加して思うこと」

38年間の教職を終え、再就職をするあてもなく、さてどんな毎日を過ごしていこうかと模索していた2年半前の4月。知り合いからの紹介で「アサギマダラ飛翔会」の存在を知りました。何の知識も経験もない全くの素人の私を会員の皆様は快く受け入れてくれました。

月に1回、有明浜の海浜植物を保存するためのプラごみ拾いに参加する中で、「スナビキソウ」の存在を初めて知り、そこに飛来する「アサギマダラ」という蝶の生態の不思議、「フジバカマ」や「鬼女蘭」など、これまで聞いたこともない（というか、知ろうともしなかった？）自然の不思議さにはまっていきました。

私は、小さいころから虫や魚が好きで、田舎の原風景の自然の中で走り回る幼少期を過ごしてきた人間です。近所の用水路に行っては「タガメ」や「タイコウチ」「ゲンゴロウ」「水カマキリ」採りに没頭し、「メダカ」や「タナゴ」「オイカワ」「モツゴ」など水生生物を観察することが大好きな子どもでした。

いつのころからか、環境破壊が揶揄され始め、これらの日常の自然の中で見られた生物が「絶滅危惧種」に指定され、ほとんど見られなくなっていることにショックを受けました。小学校の現場で言えば「メダカ」の



学習をする場面で、ペットショップから教材として「ヒメダカ」を購入しなければならない現実。「先生近所の川でメダカがいたよ」と喜んで子どもがもってきたのが、「カダヤシ」という外来種の魚だったこと。また、それさえも知らない若い教員。「四季を感じ、自然と共に生活する実体験をしたことがない」それを「知らない」子どもたちを育てる学校の現場。子どもをとりまく大人の在り方が、極端にいうと「罪である」と最近反省しきりの毎日です。

「自然から人間が学ぶべき」とよく言われます。私は、現在「アサギマダラ飛翔会」での活動をもとに、新しく知った自然の不思議・感動を子どもたち世代にこそ知らせたい、直接体験させたいと思っています。また、ホタルやニホンバラタナゴ、アツケシソウなど、香川の田舎の原風景、ため池の原風景、塩田の原風景にあった動植物を少しでも後世の若者に伝えることが大切だと考えています。

「蝶を採るな」ではなく、マーキングした蝶を捕獲したときに「どうしてこんな印がついてるの」という疑問に答えられる大人。「ホタルを採るな」ではなく、「雄と雌の違い」「成虫として1週間水しか飲まずに次の世代へと命をつなぐ生態」を説明できる大人。讃岐三白の一つ「塩」生産の舞台「塩田」跡に希少種として生息するアツケシソウの植物独自の対応力に感動できる大人。そんな大人として、ささやかな日常を自然とともに過ごしたいと考えている毎日です。もちろん自然界の一員として。

広告

＜香大ラグビー部OB会 会長＞
山地武文税理士事務所
(昭和43年卒) (四国税理士会所属)
観音寺市坂本町 3-1-12 ☎(0875)23-2851

國宗智子税理士事務所
(平成8年卒) (四国税理士会所属)
高松市塩上町 1-2-30 ☎(087)831-3938

●NHKの放送がありました

2023年9月30日土曜日 午前7時30分からの放送です。「ギュッと四国」という番組です。

NHK松山放送局の制作でNHKが著作権持っていますから画像は出せません。

イメージとしてこのような感じでした。

左にキャスターの都倉悠太さん、右に気象予報士の田中勇作さんがモニターを見ながらおしゃべりします。四国の話題と魅力をギュッとお届けします。アサギマダラについて、過ごしやすい環境を求めて移動することから旅する蝶と呼ばれています。翅を広げた状態で10センチほどの大きさです。有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会では、たくさんの人々に蝶を見てもらいたいという事でフジバカマを植えて増やしています。例年であれば10月中旬あたりが観測のチャンスです。



●一株オーナー様の集い

2023 年 10 月 14 日

一株オーナー様の集いが行われました。オーナー様と一般の方を合わせて 107 名の参加です。春にフジバカマを植え世話をし、今夏の酷暑を乗り越えようやくアサギマダラを迎えます。花は 7 分咲でしょうか。当日 23 頭が確認できました。しかも、雌のアサギマダラ 2 頭がいました。



新しく作った「有明浜の海浜植物 21 種」の小冊子、有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会の飛翔会「活動のご案内」パンフレットを置きました。新たに新規会員が 10 人の加入がありました。こういう行事での勧誘は効果あります。入会申し込み書を準備しておき、記入してもらったことが良かったと思います。

有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会 高畠会長の挨拶に始まり、ハガミ山 木之郷フジバカマ園の世話人である太田さんのお話です。





また、太田淳一さんが鬼女蘭の鉢植えを持参してくれました。種蒔きしてから3年目の株で花が咲いていました。フジバカマ園に置き、アサギマダラの産卵を期待します。

広告

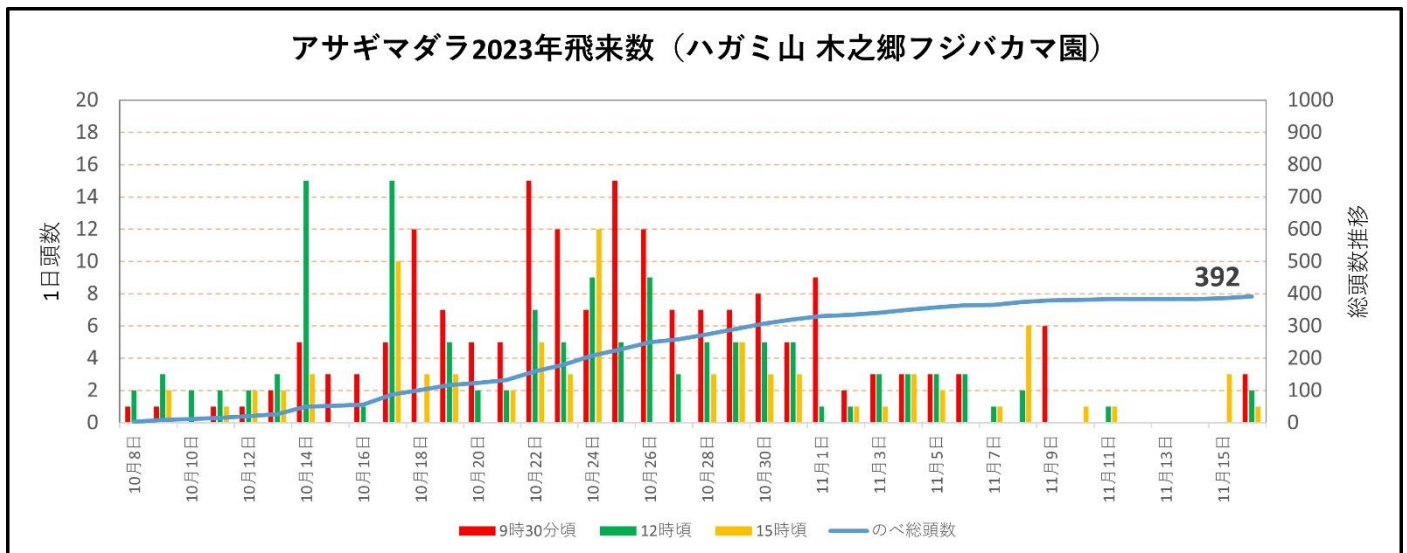


観音寺店	丸亀店	宇多津店	高松太田店
☎0120-939077 ☎0875(24)2188 観音寺市植田町116-1	☎0120-939847 ☎0877(25)2655 丸亀市田村町402-1	☎0120-931335 ☎0877(85)5105 綾歌郡宇多津町浜八番丁121-3	☎0120-335558 ☎087(814)3210 高松市太田上町983-6

●秋の飛来数

場所	伊吹島	ハガミ山 木之郷フジバカマ園
訪花	フジバカマ類	
初飛来日	10月12日	10月8日
最終飛来日	11月6日	11月16日
総頭数	47	392

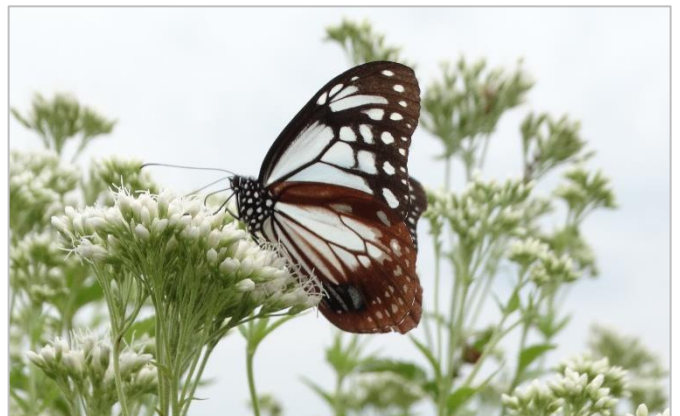
10月8日の初飛来から11月16日まで、飛来した期間の1日ごとの頭数を示したグラフです。



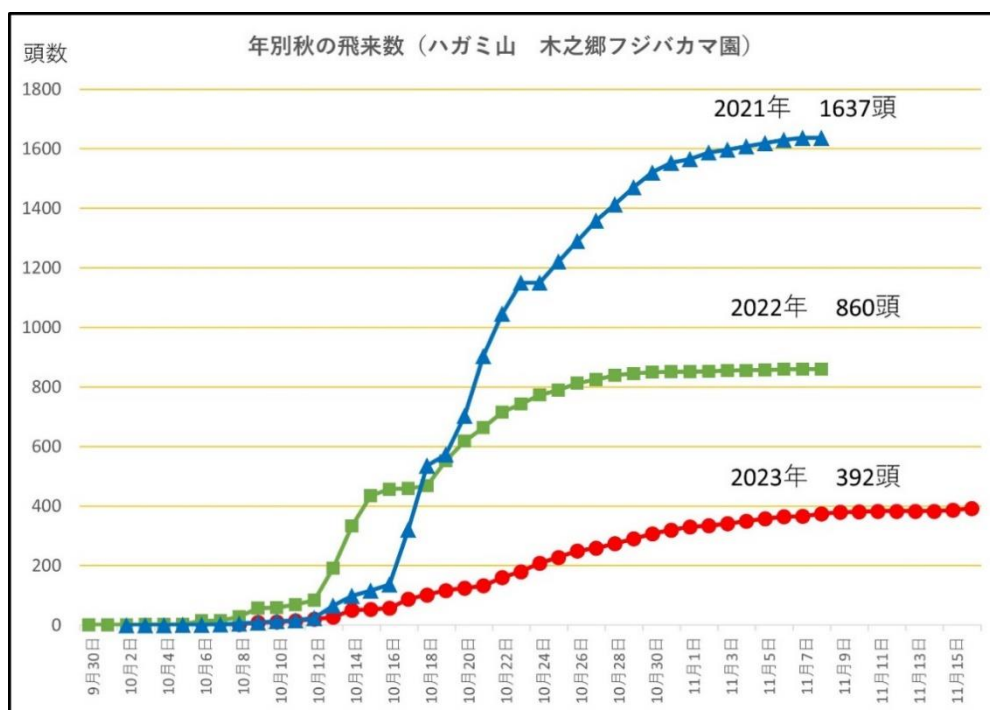
伊吹島での撮影（三好さん）



ハガミ山 木之郷フジバカマ園での撮影（高橋さん）



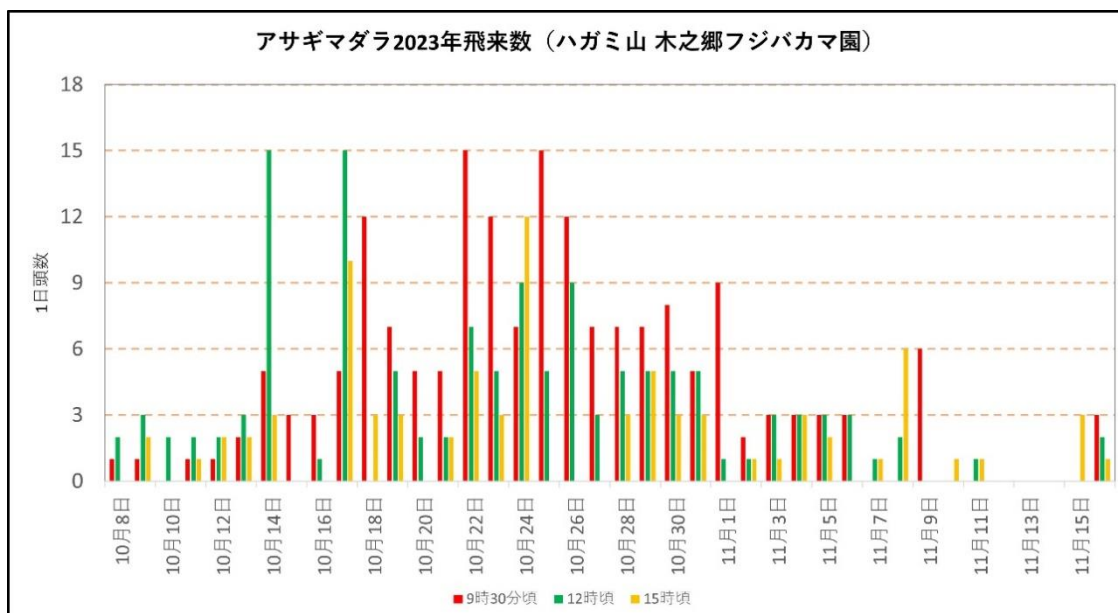
年別によるアサギマダラの飛来数です。3年間で最も少なくなりました。



2023年の9月気温を見ると上旬が34℃、下旬は30℃となり下降は緩やかで高温を維持した状態です。アサギマダラの活動する気温22℃から26℃にはまだほど遠い状態です。よって、飛来が遅れました。全国的に見て今夏は気温が高かったと思います。

1日の平均頭数では2022年が23頭、2023年が10頭でした。飛来期間は38日間で似たような期間でした。

2023年の1日単位の飛来数で見ると、10月上旬は12時頃（緑色グラフ）が多く中旬以降は午前中（赤色グラフ）に多く飛来しています。



●鬼女蘭とは？

なんと変わった名前の植物であろうか鬼女蘭（きじょらん）。蘭と付くが蘭の仲間ではない。キョウチクトウ科（旧ガガイモ科）・キジョラン属に属するつる性の植物で、フジバカマ同様にピロリジジナルカロイドと言う毒成分を持っている。種子には白い綿毛があり鬼女蘭という名前の由来は、鬼女が白髪を振り乱した様子に見立てたところから。夏に淡白い4ミリくらいの小さな花を咲かせ、実は熟すまでに1年以上かかる。



アサギマダラの幼虫は鬼女蘭の葉を好んで食べる。葉に穴があれば裏に幼虫がいることが多い。



●皆さんに苗を分けてあげようと種子から育ててみた

一株オーナー様の集いには鬼女蘭の苗を配布しようと決め、育てることにした。飛翔会の高橋さんから鬼女蘭はとても気難しい植物と聞いていて、育つかどうか不安だった。

2023 年 春

種子はネットで探し鹿児島県の人から購入した。近くの山に鬼女蘭があり、昨年12月に採取してくれた。種蒔きの準備をして、苗床トレイを探し7センチポットを並べることができるのを購入した。

ネットの記事では3月上旬に蒔いて5月下旬に発芽をする記事を見つけた。
いつに蒔けばいいのかわからないので、実験的に3/18、3/29、4/3、4/5に蒔いた。
野良ネコ対策として、庭の梅の木に吊るした。

5月14日

初発芽、3月29日に蒔いたもので随分発芽まで時間がかかることがわかった。





6月3日

10 芽発芽、植えてから 1.5～2 ヶ月半かかることが判明した。3/18、4/3、4/5 に蒔いたのも順次発芽した。

6月19日

日光に当たりすぎると葉に艶がなくなったので半日陰に移動した

6月27日

本葉が出始め順調だ。アブラムシがつき消毒した。

9月10日

一株オーナー様の集いに持っていくための準備にかかる。日差しが弱くなっているから、日当たりの良い所に移動したほうがいい。光合成を十分に行うことができるから、丈夫な苗になるよと高橋さんからアドバイス受けた。

10月13日 持っていく直前のポット苗。



●寄稿

太田 一歌の父(太田淳一さん)

「アサギマダラとのすごし方 ver. 2」

10月から11月上旬にかけて、フジバカマに舞い降りたアサギマダラ。木之郷フジバカマ園で私たちに感動を与え旅立ったその先、果たして今、どの空を舞っているのでしょうか。秋は、南下の途中、何千キロも飛翔し、その途中で卵を産むことも知られています。その卵がどのような生活おくるのか気になりませんか。

昨年、太田晴夫さんが管理されていたフジバカマ園のキジョランにアサギマダラが産卵しました。会員に開放していたので、多くの人が観察されたことと思います。幼虫は黄色、黒、白といった奇抜な模様で、「毒があるぞ」と言わんばかり。マダラチョウ特有の突起も印象的で、成虫以上に私の心に残った。その感動から、もっと近くで観察したくなり、卵からの飼育に挑戦。現在、蛹まで育て上げたので、その様子をご紹介します。

10月中旬高知県で母蝶(アサギマダラのメス)を採集し、キジョランに採卵 10月30日に初産卵し、1週間で93個の産卵。産卵まで大変苦労し、試行錯誤の連続でした。

(1日目:19個、2日目6個、3日目お休み、4日目19個、5日目お休み、6日目21個、7日目8個、8日目お休み、9日目20個)

＊お休み中の母蝶は、ポカリスエット5倍希釈を給水。



産卵



お休み中の母蝶

ここからは幼虫の成長過程を写真でお楽しみください。

孵化直前の卵と孵化直後の幼虫(1齢)です。いわれているように殻を食べています。が、食べない個体もいます。その個体は、キジョランに齧りついていました。



卵



幼虫(1齢)

2-3 齢幼虫

キジョランをモリモリ食べここまで1週間くらいです。今回は、幼虫の全過程のヘッドカプセルを集めることも目的の一つです。大量の糞の中から小さなヘッドカプセルを探すのは、大変です。幼虫が脱皮した時に残る頭部の殻をヘッドカプセルと言います。



2-3 齢幼虫



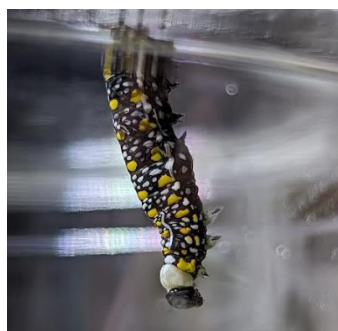
ヘッドカプセル



大量の糞

4-終齢+前蛹

ここまでくると食欲が桁違いでキジョランの葉っぱ手のひらサイズを数日で完食します。我が家のキジョランの葉の数とアサギマダラの食欲の勝負でした。前蛹は光が透き通っています。



終齢



終齢

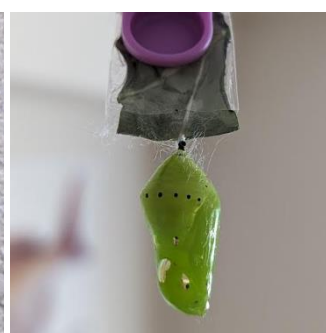


前蛹

蛹



蛹



蛹

いかがでしたでしょうか。93 個の卵から始まりましたが、現在 11 頭の蛹と、5 頭の幼虫が、我が家で生活しています。飼育の難しさを感じる場面もあり、辛いこともありましたが、それに勝る学びがありました。幼虫から成虫になるのは、本当にすごいことです。来年、アサギマダラが舞い降りた時、私は、おそらく今年とは違う気持ちで迎えることになると思います。

広告



Wellnest
ENGINEERING



石川組

●中学生からの作文寄稿

観音寺中学校 2年 藤原虹心さん

「有明浜の海浜植物を守る、伝える」

みなさんは有明浜の海浜植物を知っていますか。その植物の中には全国でも数少ない貴重な種類も存在しています。そんな有明浜や海浜植物を守ろうと努力されている方がいます。呼びかける看板を立てたり、観音寺ボランティア協議会と協力して月に清掃活動をしたりするなど、様々な取り組みをされています。

私たちは一年生のふさと学習にて、実際に有明浜に行き、その活動の大変さや大切さを吉田さんから学びました。ハマゴウの種をとって匂い袋を作る作業などいろいろ教わりました。

吉田さんは「私たちができることは限られているけれど、できる範囲で有明浜を守り、よさを伝えていきたい。」とおっしゃっていました。私は小学生の時から有明浜を訪れたり学習をしたりしてきたので有明浜が大好きです。自分にできることを見つけて、有明浜を守り、良さを伝えていきたいなと思いました。

有明浜は、私たち
(観音寺中学校) が世話をしています



「さめき瀬戸」パートナーシップ事業実施地区

有明浜にある立て看板

●有明浜の海浜植物シリーズ【第4回】



ネコノシタ

香川県絶滅危惧Ⅰ類に指定。

学名：Wedelia prostrata
(Hook. et Arn.) Hemsl.)

は、キク科ハマグルマ属に分類される海岸に生育する多年草の1種である。

別名のハマグルマ（浜車）

は、花が車咲きである姿であることに由来する。

花は舌状花と筒状花で構成され、頭状花序で黄色く、大きさは直径20ミリ前後、茎は長く砂上をはい、砂浜をおおおうようにはびこる。

参照：Wikipedia





有明浜の海浜植物とアサギマダラ飛翔会ホームページ
ariakehama.org

だより11号は広報誌編集委員が作成しました

2024年1月発行

だより11号は、(公財)香川県環境保全公社からの助成を受けています

